

図42 食塩の摂取因子状況 (男)

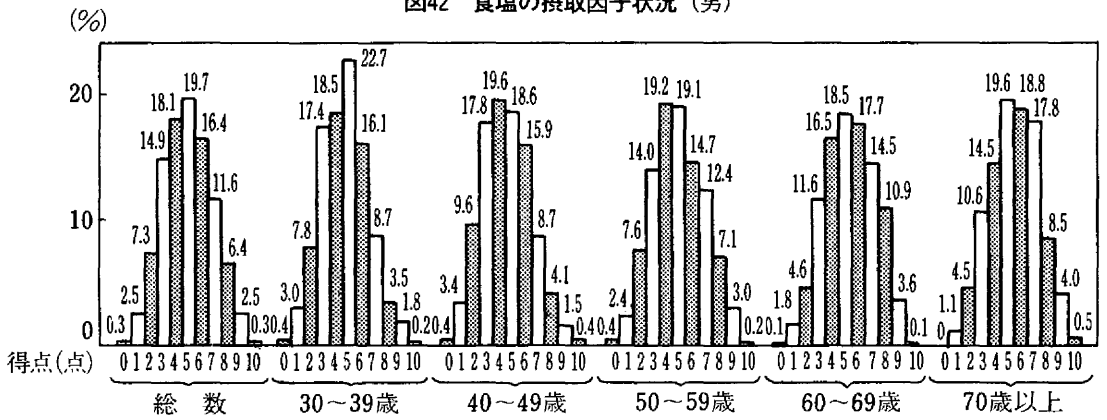


図43 食塩の摂取因子状況 (女)

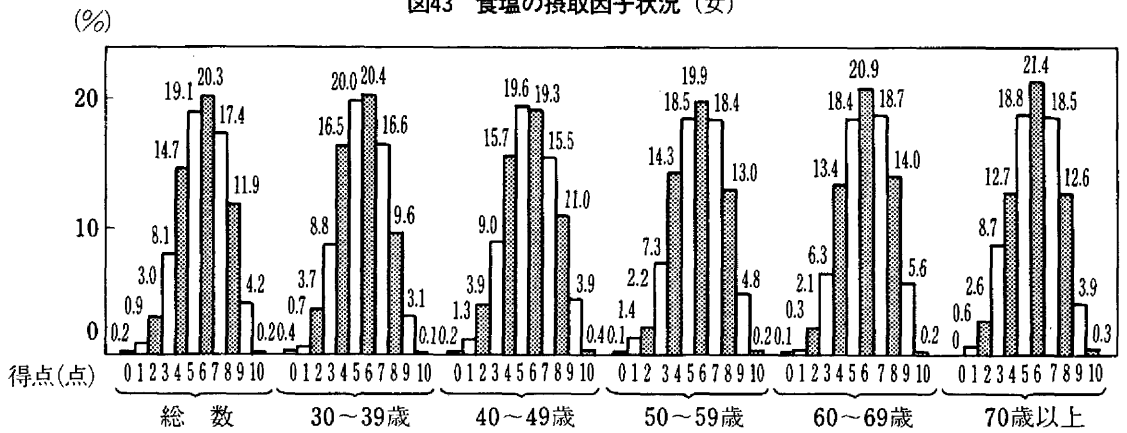


表9 性・年齢階級別血液検査対象者数

年齢	男	女
総数	3,303	4,613
30~39歳	623	995
40~49	786	1,126
50~59	760	991
60~69	678	875
70歳以上	456	626

※血糖値を除く各項目

表10 性・年齢階級別にみた血色素量の平均値、標準偏差

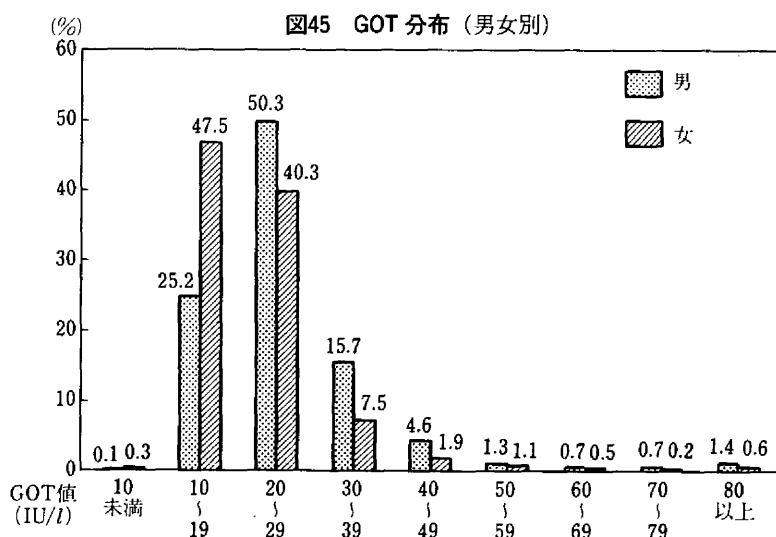
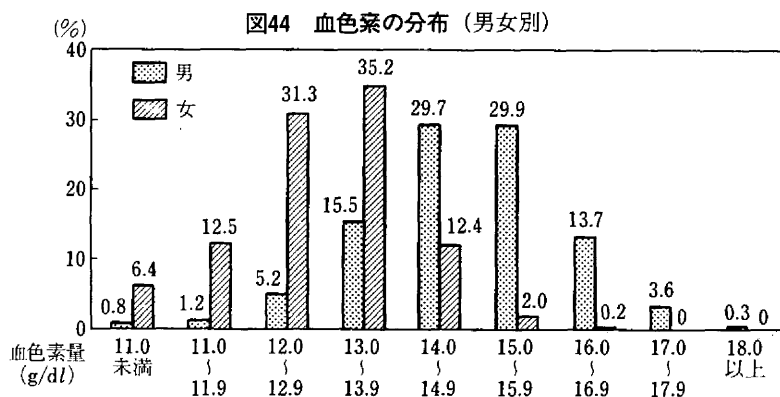
年齢	男		女	
	平均値 (g/dl)	標準偏差 (g/dl)	平均値 (g/dl)	標準偏差 (g/dl)
総数	14.8	1.30	12.8	1.24
30~39歳	15.3	1.06	12.7	1.25
40~49	15.3	1.09	12.7	1.40
50~59	14.9	1.16	13.1	1.07
60~69	14.5	1.24	13.0	1.03
70歳以上	13.8	1.55	12.5	1.30

## 7. 血液検査

血液検査は30歳以上の男女を対象として、血色素量・総鉄結合能・血清鉄・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・総コレステロール・トリグリセライド・HDL-コレステロール・総たん白質・アルブミン・A/G比・血糖値・フルクトサミン・クレアチニン・尿酸の16項目について測定した。主な項目の測定方法及び結果の概要は次のとおりである。なお、調査対象については表9のとおりであるが、血糖値については

表11 性・年齢階級別にみた血色素量  
低値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	14.0g/dl 未満	12.0g/dl 未満
総 数	22.7	18.9
30～39歳	9.0	20.0
40～49	9.8	21.0
50～59	19.5	11.9
60～69	34.6	14.7
70歳以上	51.7	30.2



「食後3時間以上の人」のみを集計の対象としたため、別途(表24)に示した。

### (1) 血色素量

血色素量の平均値及び標準偏差は表10に示すとおりである。

全ての年齢で男性の方が女性より高値であるが、特に若年層において差異が大きくなっている。この分布は図44に示すとおりである。

表12 性・年齢階級別にみた GOT 値の平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)	平均値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)
総 数	26.8	15.61	22.3	12.73
30~39歳	24.7	15.61	18.1	6.72
40~49	26.5	11.27	19.9	9.96
50~59	28.0	12.17	24.3	13.29
60~69	27.6	17.95	25.4	13.66
70歳以上	27.0	13.73	25.6	18.33

表13 性・年齢階級別にみた GOT 高値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	40IU/l 以上	40IU/l 以上
総 数	8.7	4.3
30~39歳	7.4	1.6
40~49	9.3	2.4
50~59	9.8	5.2
60~69	8.1	7.4
70歳以上	9.4	7.4

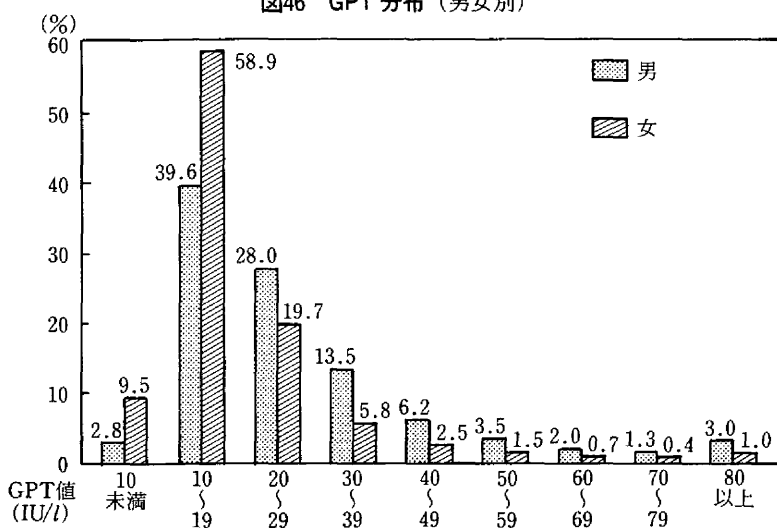
表14 性・年齢階級別にみた GPT 値の平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)	平均値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)
総 数	28.0	22.88	19.5	16.97
30~39歳	31.3	26.53	16.0	11.12
40~49	31.3	20.67	17.9	15.36
50~59	29.3	26.34	22.7	16.97
60~69	24.3	20.76	22.2	15.90
70歳以上	20.7	13.58	19.1	25.29

表15 性・年齢階級別にみた GPT 高値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	40IU/l 以上	40IU/l 以上
総 数	16.0	6.1
30~39歳	20.8	3.3
40~49	21.8	4.2
50~59	15.9	8.5
60~69	10.5	9.6
70歳以上	7.8	5.3

図46 GPT 分布 (男女別)



男性で14.0 g/dl 未満及び女性で12.0 g/dl 未満の人の割合は表11のとおりで、それぞれ22.7%及び18.9%となっており、男性では加齢とともに顕著な増加を示すが、女性は明確な傾向はみられない。

(2) GOT, GPT,  $\gamma$ -GTP

GOT, GPT,  $\gamma$ -GTP の平均値及び標準偏差の状況は表12, 14, 16のとおりである。

GOT, GPT,  $\gamma$ -GTP の分布は図45~47に示すとおりである。

表16 性・年齢階級別にみた  $\gamma$ -GTP 値の平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均 値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)	平均 値 (IU/l)	標準偏差 (IU/l)
総 数	53.3	75.36	21.2	28.99
30~39歳	46.9	45.54	16.3	17.68
40~49	68.5	105.96	20.4	44.13
50~59	60.3	78.19	24.5	26.16
60~69	46.1	59.97	24.2	22.32
70歳以上	34.7	49.61	20.7	18.58

表17 性・年齢階級別にみた  $\gamma$ -GTP 高値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	40IU/l 以上	40IU/l 以上
総 数	39.8	9.1
30~39歳	38.0	4.0
40~49	52.3	7.1
50~59	45.2	12.6
60~69	32.5	13.5
70歳以上	22.6	9.5

図47  $\gamma$ -GTP 分布 (男女別)

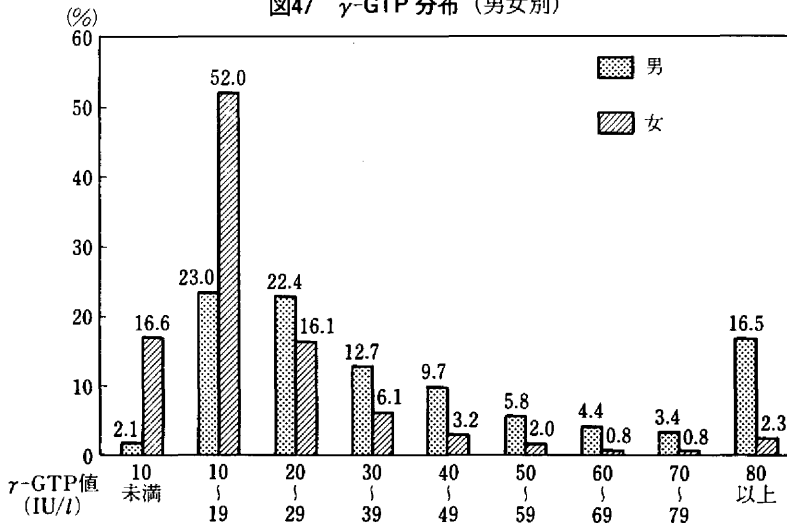


表18 性・年齢階級別にみた血清総コレステロールの平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均 値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)	平均 値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)
総 数	198.6	37.76	207.1	38.73
30~39歳	196.2	35.22	185.9	31.87
40~49	204.3	36.59	200.1	34.41
50~59	200.1	36.51	217.7	36.65
60~69	197.5	37.58	222.8	38.07
70歳以上	191.3	36.64	215.0	42.04

表19 性・年齢階級別にみた血清総コレステロール高値者の割合 (%)

年 齢	男		女	
	220~259 mg/dl	260mg/ dl以上	220~259 mg/dl	260mg/ dl以上
総 数	21.1	5.8	25.4	9.1
30~39歳	17.2	5.4	10.5	2.5
40~49	24.9	6.3	20.8	4.8
50~59	23.3	6.2	34.0	11.8
60~69	19.9	6.3	37.3	15.5
70歳以上	18.2	4.1	27.8	13.9

GOT が40以上を示す人の割合は表13のとおり男性8.7%, 女性4.3%である。同様に GPT が40以上を示す人の割合は表14のとおり男性16.0%, 女性6.1%である。

また,  $\gamma$ -GTP が40以上の人は表17のとおりで, 男性39.8%, 女性9.1%である。

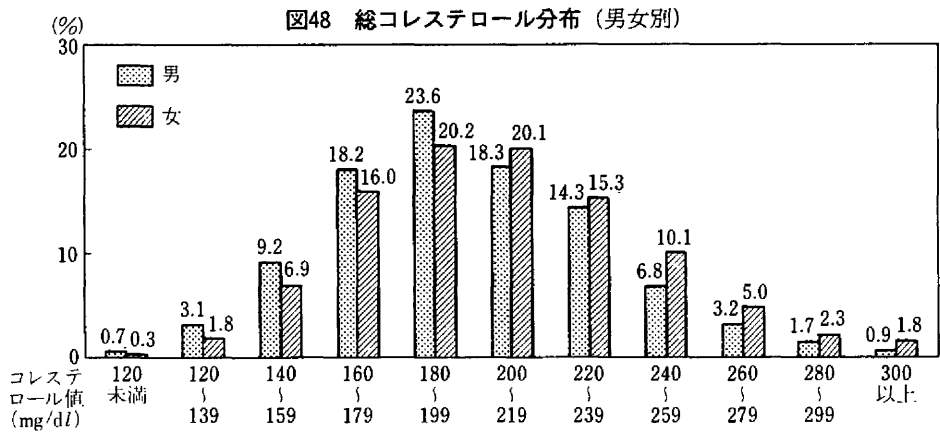


表20 性・年齢階級別にみた HDL-コレステロールの平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)
総 数	50.3	15.02	56.9	15.03
30~39歳	50.2	15.10	59.9	14.04
40~49	49.8	14.24	59.0	14.99
50~59	51.1	14.57	56.8	15.53
60~69	50.2	15.91	54.1	14.25
70歳以上	50.0	15.50	52.7	15.16

表21 性・年齢階級別にみた HDL-コレステロール低値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	40mg/dl未満	40mg/dl未満
総 数	25.3	11.7
30~39歳	26.0	5.5
40~49	24.9	9.1
50~59	23.2	12.3
60~69	27.2	15.1
70歳以上	25.9	20.8

### (3) 総コレステロール, HDL-コレステロール

総コレステロール, HDL-コレステロールの平均値及び標準偏差は表18及び表20のとおりである。総コレステロールは全体としては男性より女性が高値である。それは高齢層においてより顕著であるが, 30~40歳代は男性の方が女性より高値を示している。

HDL-コレステロールは, 全年齢層において男性より女性が高いが高齢層ではその差は小さくなっている。それぞれの分布を図48及び図49に示す。

総コレステロールが220~259mg/dl及び260mg/dl以上を示す人の割合は表19のとおりで, それぞれ男性21.1%及び5.8%, 女性25.4%及び9.1%である。

男性がほぼ一定しているのに比べ女性では若年層に低く, 高齢層ではかなり増加している。

HDL-コレステロールにおいて, 表21にみられるとおり低値者の割合は, 全年齢を通じて女性が男性より低率となっており, また, 男性は全年齢を通じてほぼ一定しているのに比べ, 女性は高齢になるほど急激に増加している。

### (4) 総たん白質

総たん白質の平均値及び標準偏差は表22のとおりである。

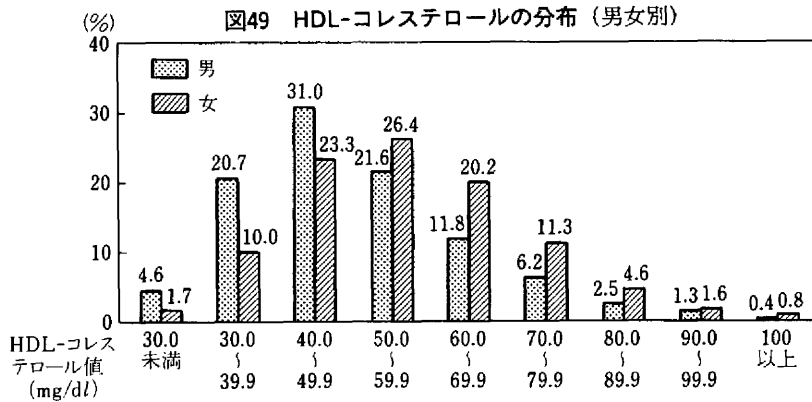
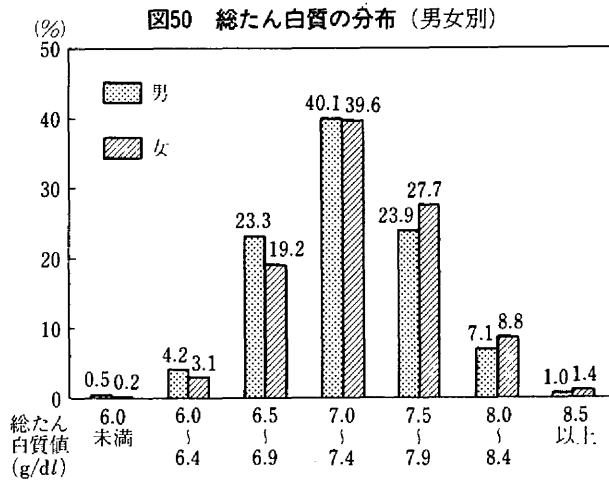


表22 性・年齢階級別にみた総たん白質平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (g/dl)	標準偏差 (g/dl)	平均値 (g/dl)	標準偏差 (g/dl)
総 数	7.2	0.50	7.3	0.49
30~39歳	7.4	0.45	7.3	0.47
40~49	7.3	0.47	7.3	0.48
50~59	7.3	0.49	7.4	0.49
60~69	7.2	0.50	7.3	0.51
70歳以上	7.1	0.55	7.2	0.51

表23 性・年齢階級別にみた総たん白質低値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	6.5g/dl未満	6.5g/dl未満
総 数	4.7	3.3
30~39歳	1.0	2.8
40~49	3.7	3.0
50~59	4.0	2.2
60~69	7.1	3.1
70歳以上	9.2	6.7



総たん白質の平均値については男女間であまり差異はなく、その分布は図50に示すとおりである。総たん白質が6.5 g/dl未満の人の割合は表23のとおり男性4.7%、女性3.3%で、加齢に伴い増加の傾向がみられる。

#### (5) 血糖値, フルクトサミン

血糖値, フルクトサミンの平均値及び標準偏差は表24及び表25に示すとおりである。

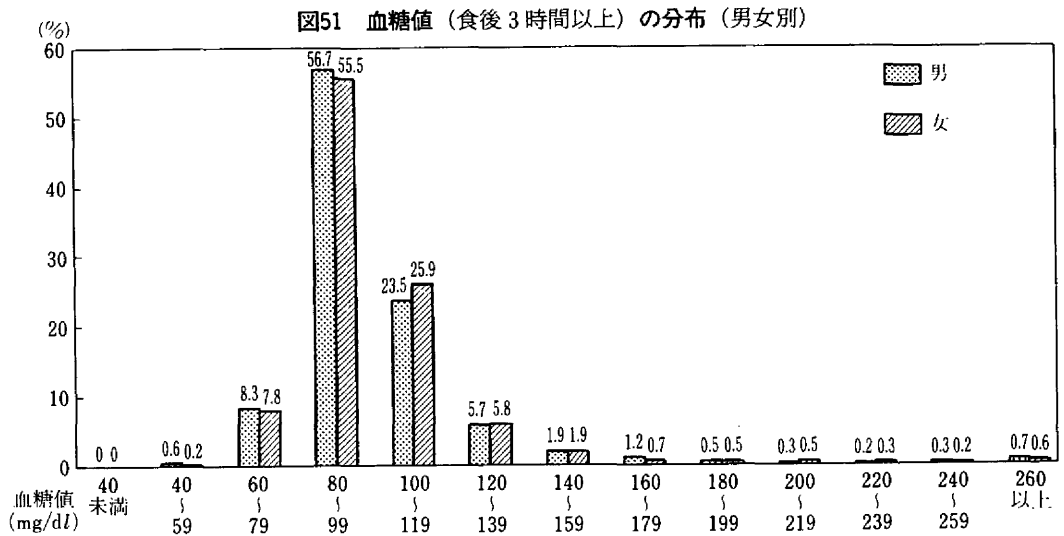


表24 性・年齢階級別にみた血糖値（食後3時間以上）の平均値、標準偏差

年齢	男			女		
	対象者数 (人)	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)	対象者数 (人)	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)
総数	2,683	100.2	30.82	3,586	100.5	27.72
30~39歳	523	93.5	20.88	755	93.1	17.12
40~49	631	96.9	21.71	871	95.0	18.11
50~59	630	101.0	35.38	786	101.7	30.36
60~69	544	103.5	35.01	629	107.4	31.95
70歳以上	355	109.4	37.58	495	110.0	35.99

表25 性・年齢階級別にみた血糖値高値者の割合（食後3時間以上）(%)

年齢	男	女
	110mg/dl以上	110mg/dl以上
総数	17.5	18.5
30~39歳	7.8	9.4
40~49	12.5	10.3
50~59	17.6	17.7
60~69	21.9	29.6
70歳以上	34.1	33.3

表26 性・年齢階級別にみたフルクトサミン値の平均値、標準偏差

年齢	男		女	
	平均値 (mmol/l)	標準偏差 (mmol/l)	平均値 (mmol/l)	標準偏差 (mmol/l)
総数	2.6	0.36	2.6	0.32
30~39歳	2.6	0.24	2.5	0.22
40~49	2.6	0.29	2.6	0.24
50~59	2.6	0.42	2.7	0.39
60~69	2.6	0.41	2.7	0.36
70歳以上	2.7	0.37	2.7	0.36

表27 性・年齢階級別にみたフルクトサミン高値者の割合 (%)

年齢	男	女
	2.8mmol/l以上	2.8mmol/l以上
総数	16.4	17.7
30~39歳	8.1	7.8
40~49	12.5	10.9
50~59	17.6	21.4
60~69	21.5	26.1
70歳以上	25.0	28.4

平均値においては血糖、フルクトサミン双方とも男女間にはほとんど差はみられない。分布については図51及び図52に示すとおりである。また、血糖値110以上の人の割合及びフルクトサミン2.8mmol/l以上の人の割合においても表25及び表27にみられるとおり全体としては女性が男性よりやや多く、また、いずれも加齢とともにその割合は高くなっている。

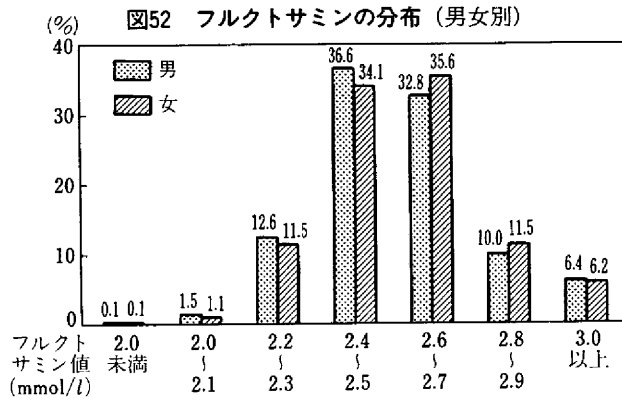
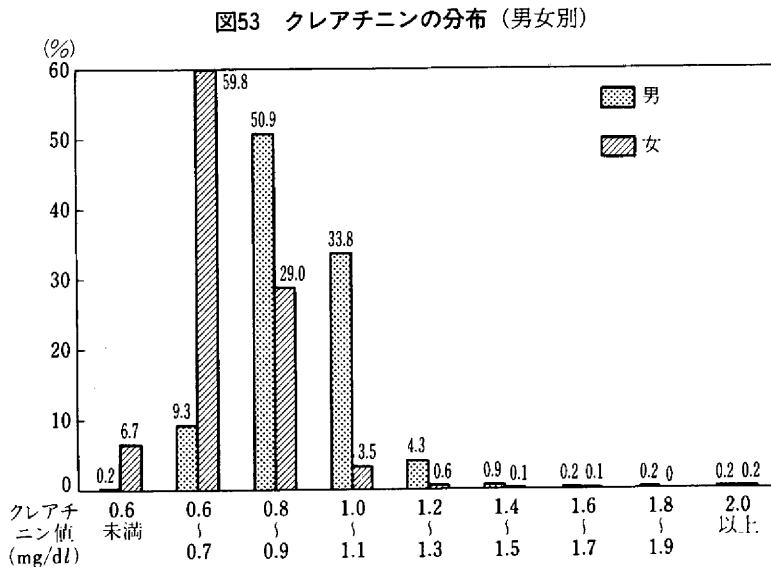


表28 性・年齢階級別にみたクレアチニン値の平均値, 標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)
総 数	0.93	0.32	0.72	0.27
30~39歳	0.90	0.12	0.68	0.25
40~49	0.91	0.13	0.69	0.11
50~59	0.93	0.59	0.72	0.12
60~69	0.93	0.17	0.75	0.47
70歳以上	1.00	0.28	0.82	0.26

表29 性・年齢階級別にみたクレアチニン高値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	1.4mg/dl 以上	1.4mg/dl 以上
総 数	1.5	0.4
30~39歳	0	0.1
40~49	0.5	0.2
50~59	0.5	0.1
60~69	1.6	0.7
70歳以上	6.8	1.8



(6) クレアチニン

クレアチニンの平均値及び標準偏差は表28に示すとおりであり, 男女とも加齢とともに高くなっている。その分布は図53に示すとおりである。クレアチニン1.4mg/dl 以上を示す人の割合は表29のとおり



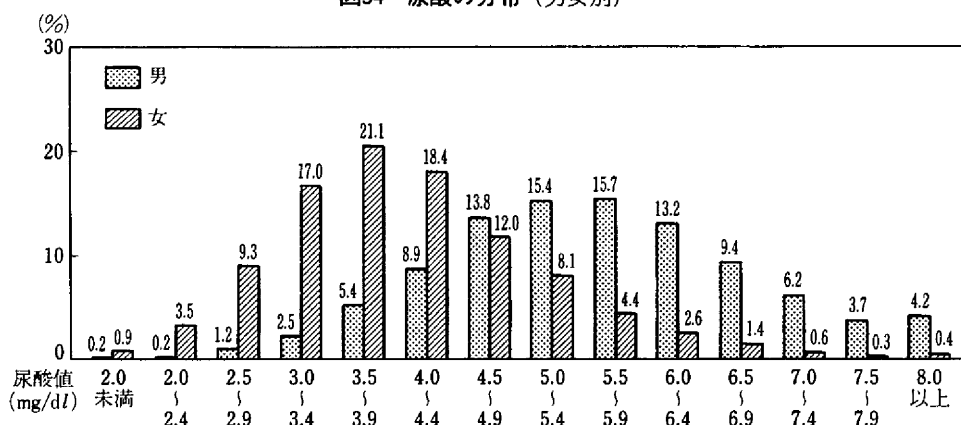
表30 性・年齢階級別にみた尿酸値の平均値、標準偏差

年 齢	男		女	
	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)	平均値 (mg/dl)	標準偏差 (mg/dl)
総 数	5.6	1.31	4.0	1.09
30～39歳	5.8	1.25	3.7	0.85
40～49	5.6	1.31	3.7	0.95
50～59	5.5	1.27	4.2	1.02
60～69	5.6	1.33	4.3	1.16
70歳以上	5.5	1.36	4.5	1.30

表31 性・年齢階級別にみた尿酸値高  
値者の割合 (%)

年 齢	男	女
	7.0mg/dl 以上	5.5mg/dl 以上
総 数	14.1	9.7
30～39歳	15.6	3.4
40～49	15.7	4.7
50～59	10.5	10.5
60～69	15.5	14.2
70歳以上	13.1	21.8

図54 尿酸の分布 (男女別)



りで男性1.5%、女性0.4%である。

### (7) 尿 酸

尿酸の平均値及び標準偏差は表30に示すとおりであり、男性は加齢によりやや減少のみであるが、女性は逆に上昇のみである。その分布を図54に示す。また、男性で尿酸7.0mg/dl以上、女性で5.5mg/dl以上を示す人の割合は表31のとおりで、男性14.1%、女性9.7%となっている。